



## 北海道地方

### 札幌國道の竣工

札幌市と小樽市とを結ぶ札幌國道改良工事は北海道廳が、札幌兩市並に藻岩、琴似、手稻、朝里の四村の多年の希望を認めて、昭和六年度に於て總工費百五十萬圓を投じて起工し、三ヶ年の日數を費して昭和九年一月にその主要部分を竣工し、次で十一月下旬に昭和九年度分の工事を竣工した。尙ほ、全部の竣工には相當の日數と巨額の經費を要する由である。これによりて、北海道の首都として、又政治並に文化の中心

地として、道内第一の商港を控へてゐる札幌、小樽の兩市並に沿道各村の交通は非常に便利となり、愈々發展するに至るであらふ。

同國道は、幕府の領土たりし時代即ち安政四年に某請負人が私費を投じて神威古堅其他の難所に道路を開き又同年函館奉行が請負人をして錢函千歳間へも道路を開鑿せしめたるに始まり、開拓使時代明治五年樺島三間の車道として改修し、小樽若竹町附近を起點として平磯岬を巡り、熊鷹に出で海岸に沿ひ朝里、錢函の漁村部落を連結し、夫より現在の路線を経て札幌に至つたもので其の工を終へたのは同十二月であ

る。然るに同十三年幌内鐵道の敷設せらるゝに至り、熊鷹錢函間は地勢の關係上鐵道のために占用された結果車馬道としての交通を阻害せられ止むを得ず鐵道線路外狭少の餘地を辿つて多數の踏切を設け辛じて通行したのであるが、札幌間の交通運輸は不便であつた。其後明治三十七年の日露戦役の時に札幌居住民の避難と後方連絡の必要より、毛無山の鞍部を経て朝里平野の地から石倉の峠を越えて錢函に出で國道に合する道路を開鑿した。然して、これは通稱軍用道路又は軍事道路といふ現在迄の所謂國道であるが、急に開鑿したために非常に不便なりしたため昭和三年に暫定的改修工事を施し、更らに昭和六年に失業救済産業振興事業として起工されて、今日に及んだものがある。

### 日勝道路の開通

北海道幌泉郡幌宗村大泉鹿野宇谷地頭を起點として、日高、十勝國境を終點とする、

日勝道路改良工事は總工費百數十萬を投じて、昭和三年起工し、爾來銳意工作を急ぎ八ヶ年の星霜と三十餘人の悼ましき犠牲者を出して今回見事に竣工せるものにして、十一月三日日高十勝の國境附近にある猿留橋々上に於て、盛大なる開通式が舉行された。同道路は延長約十七軒、有効幅員四米乃至五米にして、同道路間には總延長三百五十六米の木橋が八ヶ所に架設されてゐる。

同道路沿岸一帯の地は特に海産林産の資源に富み、日高十勝兩國の連繫に最も緊要なる地位を占むるに拘らず、大抵數百尺の斷崖絶壁よりなり或は奇岸怪石の深く海中に突出するあり又は猿留川を始として「ピタランケ」「シトマン」等の各河川此間に横斷し、殊に風雨水雪の時に於ては、一望際涯なき大平洋の荒浪と交錯咆哮の沿岸の状況は行人をして幾多の過去の不祥時を想起せしめ慄然たらしむるものがある。従つて、一般には交通上の難關と考へられ、宣傳され、僅かに羊腸たる山間の急坂路を辿

るの外なかつたのである。茲に於て北海道廳當局は遂に意を決して、これが改良に着手することとなり、今日に及んだのである。従つて、同道路が開通された現在以後に於ては、同地方の交通文化に大いなる貢獻を致すであらう。

## 關東地方

### 東京市新宿驛前を起點とする交通網

大東京の西部新市域と都心とを連絡する大玄關新宿驛附近は非常に狹隘にして、こゝに密集する交通機關の激増により殺人交通の觀を呈してゐるので、都市計畫東京地方委員會では、多年これが大改造を計畫してゐたが、これに要する經費三百五十九萬七千圓の起價が十一月六日內務省より許可されたので、先づ今年度分として九十四萬五千圓を計上して、愈々近くこの大改造に著手する由である。

新宿驛を起點として四方に延びる交通機關は省線山手中央線を初め市電、市バス、小田急、私營バス其他にして、これらの交通機關の吞吐する一日の交通量は約三十萬であるが、これを圓滑にさばくため「新宿廣場」を建設するものである。これは近く移轉する同驛西側の煙草專賣局淀橋工場跡の二萬六千平方米及び小瀧橋に抜ける復興道路に隣接する地域一帯を買収して實現させるものである。尙、同廣場には集團駐車場、車道歩道、芝生等を設け、近く開通の西武高速鐵道、東横電鐵及び地下鐵の起點終點驛は全部廣場の地下に包容する計畫にして、この廣場より放射線をなして敷かれる道路は淀橋淨水場方面、甲州、青梅兩街道及び、この兩道路を連絡し都心に貫通する五線にて、完成の曉には、新宿驛を中心とする發展は大いなるものであらう。

### 千葉縣下の第二期縣道改良計畫

#### 改良計畫

千葉縣土木課に於て、立案せる第二期縣道改良線（新認定の五十九路線改修）に要する豫算の知事査定は今回無事終了した。

それによると、新認定の縣道改良路線たる五十九路線の改良工事は、縣道第二期工事として、總豫算四百萬圓を投じて、七ヶ年計畫にて新縣道及びそれに密接せる道路の大改良を行ひ、縣道の面目を一變し、帝都近郊の觀光道路として遜色なき道路網を完成せしめんとするものである。先づ、現在進捗中の第一期縣道改修五百萬圓五ヶ年計畫の終了する翌昭和十二年より本格的に着手するのであるが、先づ來年度は改良調査費として二千五百圓を計上して、第一步を踏み出し、昭和十七年までに完成さす豫定である。

### 群馬、埼玉兩縣を結ぶ上武

#### 大橋の開通

群馬縣と埼玉縣との縣境を流れる利根川に架設中なりし、上武大橋は、總工費六十

五萬圓を投じて、昭和六年十一月着工以來

延工夫總計三萬八千五百七十七人を使役して鋭意工作中であつたが、今回見事に竣工したので、十月三十日同橋々畔に於て盛大なる開通式が舉行された。

新裝成つた同橋は總延長八百九十四米七〇、有効幅員五米五〇にして、戸田橋に次ぐ埼玉縣下に於ける第二の長橋である。

## 北陸地方

### 新潟市道東港線の改良工事

東西新潟を連絡する最短コースとして新潟市民よりこれが完成を期待されてゐる市道東港線（萬代橋東山ノ下縣營埠頭間幅員六米）の改良工事は、市土木課に於て、鋭意工作中なりしが、悪天候にも拘らず、意外に進捗し、來年完成の豫定を繰上げ本年内に完成さす由である。

尙、東港線も沼垂栗木川左稻荷町道路との信越線踏切は勾配二十分一程度の地下道

とされる豫定である。

### 新潟縣下瀨渡橋の竣工

新潟縣中頸城郡和田村地内國道第十一號線中矢代川に架替工事中なりし瀨渡橋は、總工費二萬三千九百六十圓を投じて、起工以來鋭意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、近く開通式を舉行する由である。

同橋は延長八十四米、幅員五米にして、上越では、直江津の荒川橋に次ぐ豪壯なモダン橋である。

### 石川縣金澤市内の街路美化

觀光都市たる金澤市内街路を奇麗に美しくしたいといふので、金澤市教育課の首唱のもとに、同市内十七校下の男女青年團、婦人團體、方面委員、衛生組合、小學校兒童など五千餘名を總動員して、十一月四、五日の兩日に互り、街路其他の美化を行ふた。

同日には市は美化運動宣傳のポスターを全市に配布して市民に主旨を徹底せしめ、参加團體は早朝より出動して、道路の滞掃神社佛閣公園、溝渠河川の淨化整理、各商店の店頭、看板電柱、橋梁上の廣告整理、美化を分擔して行ひ、非常な好成績を挙げた由である。

## 福井縣々道河原市・海津線 の竣工

福井縣三方郡耳村河原市を起點として海津に至る縣道河原市・海津線の改良工事は、總工費三萬一千四百五十圓を投じて、昭和六年十月起工以來銳意工作を急いでゐたが今回見事に竣工したので、十一月四日耳村學校々庭に於て、盛大なる竣工式が舉行された。

同縣道は延長四千五百二十二米、幅員五米五〇といふ郡内唯一の道路である。従つて、同縣道開通の曉には、郡内唯一の製炭地たる新庄より新庄炭が便利に搬出される

に到り、其他の産物搬出に一大革命を來し耳村産炭の發展と開發が期待されるであらう。

## 福井縣大野郡下交通網の 復舊

福井縣大野郡の山間部上下兩穴馬、石徹白の三ヶ村への交通は、過般の風水害のため同郡五箇村佛原の九頭龍川に架設の琴洞橋の流失により、諸車の交通杜絶し、食糧品の搬入、木炭の搬出に難澁を極めてゐたが、今回大野土木出張所の手で應急假橋が架設され、道路の崩潰箇所も復舊されたので、十月二十九日よりバス・トラック其他の諸車も通行し得る様になつた。これにより、大野郡下の交通網は復舊し、關係村民はやうやく愁眉を開くに至つた。

## 東山地方

### 山梨縣山中湖一周山嶺道 路の改良

山梨縣山下湖一周の山嶺道路改良工事は待望久しいものであつたが、今回地元中野村では愈々これが改良工事に着手することとなつた由である。

同道路は湖畔何れからでも登山出來得る様計畫されてゐるが、一般遊覽客の順路は山中又は長池部落が好適である。而して、スキー場で知られてゐる大出、大平山を経て石割連峰を縦走更に三國、明神崎を通り、ホテル附近に下山すれば、東京方面よりの日歸ヘリのコースとしても申し分なく、開通後の發展は期待されてゐる。

### 長野縣松本市松本驛・淺間 溫泉間道路の鋪裝

長野縣松本土木出張所では、此程渡間線實際前道路の鋪裝工事を完成せしめたとこゝろ、今度筑摩郡本郷村より八百圓の寄附を受けたので、未決定であつた四百五十米の道路を引續き鋪裝することに決定し、近く工事にかゝる由である。

これによりて、松本驛・淺間温泉間延長三哩の道路は完全に舗装され、縣下に於ける最長の舗装道路となるであらふ。

## 東海地方

### 名古屋市内の道路舗装計畫

名古屋市の道路舗装は、失業救済並に産業開發兩事業の實施に伴ひ、近年著しく擴大され、近く實施される東郊高辻・堀田間、築港線白鳥橋築港間其他九年度事業計畫の完成により全路面の約十三パーセントに達することゝなつてゐるが、現在の大都市舗装歩合より見るに、名古屋市は著しく遜色するので、名實共に第三位を誇る大中原の施設として、且は交通、衛生の立場より、成るべく速かに大都市の水準線まで引上げねばならないと目下その大計畫を樹立中である。

### 名古屋市内道路の美化

名古屋市保健部では、名古屋市内に於ける驛前廣小路通りや、大津町通り、特に榮町交叉點附近は交通上の中心たるのみならず近代人の散策遊歩の大道であるが、同方面の道路上に堵列せる雑多な塵芥箱は生活に必需とはいひながら、交通上、保健上、且又都市の美觀上如何にも忍び難いので、この「都會の糟粕」を除去してしまはうといふ大理想のもとに計畫を進めてゐる。それによれば、上述の如き主要道路に面する各戸の正面舗装の街路樹附近にコンクリート造りの箱を掘り下げ、中に鐵製の塵芥箱をはめて上部より更らに蓋をなし、汚物の臭氣や醜狀を密閉してしまふといふ正に文字通り「臭いものには蓋」をするのである。これに要する一ヶ當りの設備費約十五圓であるが、差し當り主要部約二萬戸分を新設するもので、設備費約三十萬圓を明年度豫算に計上し、三ヶ年繼續事業とする方針である。尙、これにより各戸より一ヶ月二十錢程度の使用料を徴收し、年額約五萬圓を

得設備の代り財源たらしめる他將來は恒久的な財源たらしめる見込である由である。

### 三重縣磯津橋の開通

三重縣四日市市監濱區磯津の内部川下流に架設中なりし、磯津橋は市費九千五百圓を投じて、起工以來銳意工作中であつたが今回見事に竣工したので、十月二十八日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は延長二百十六米八、幅員三米にして、従來は同橋は假橋なりしたため、非常な不便を感じてゐたが、同橋の開通によりて、同地方の交通は非常に便利となるであらう。

## 近畿地方

滋賀縣々道愛知川・能登川  
停車場線並に高野・稻枝停車場  
車場線の竣工

滋賀縣々道改良工事中の二線が今回見事な竣工を告げた。

一つは、滋賀縣々道愛知川・能登川停車場線にして、同路線は、縣土木課が昭和八年二月に總工費四萬五千五百二十餘圓を投じて起工し、爾來銳意工作中なりしが今回事事に竣工したので、十月二十五日五峰村佐生に於て、盛大なる竣工式が舉行された。同線の改良された部分は延長一千六百三十間、幅員二十一尺である。

他の一つは滋賀縣々道高野・稻枝停車場線にして同線も縣土木課が、大正十年に總工費十九萬九百十餘圓を投じて起工し、爾來十有餘年の星霜を経て今回竣工したものである。これが竣工式は十一月六日愛知川町沓掛に於て盛大に舉行された。同線の總延長は一千百十四間幅員十尺にして、屈曲勾配を緩和し、面目を一新したるがために、同地方の産業文化の進展に寄與するところが大きいであらう。

## 滋賀縣々道御野・長濱線中 火坂隧道の起工

滋賀縣々道中東淺井郡上草野村より同郡田根村に通ずる火坂隧道は多年の地元民の宿望がかなつて、愈開鑿することに決定し、十月二十二日地元に於て盛なる起工式が舉行された。同隧道は延長百六十四間、幅員十五尺にして、これに要する總工費は十二萬餘圓であるが、完成の曉には、同郡に於ける縣道の最難所が解消し、東部の産業交通上多大の利便を興へ、上草野村より虎姫驛へ達する東西貫通主要路ともなつて、實に三十町餘の短縮を見るものである。

## 滋賀縣下大津・下鴨線の竣工

京都府下鴨と滋賀縣大津を結ぶ大津・下鴨線の改良工事は、本年三月起工以來鋭意工作中であつたが十月二十七日見事に竣工した。これが竣工式は近く盛大に舉行される由である。

同線は滋賀里よりなだらかな傾斜面をすべり、谷を越え山腹を過ぎ明智越への眺望千石岩を下に見つゝ屏風峠をすぎるとり下

一方で山中町に入り、沿道山中の絶景を繰ふて麗湖の風光をほしいまゝにしつゝ走る山中越ドライブ・ウェーにして、延長六千一百十米、幅員四米五である。

## 滋賀縣大川橋の開通

滋賀縣高島郡百瀬村大字知内、海洋、今津線中知内川に架設中なりし大川橋は今回事事に竣工し、十一月三日橋畔に於て盛大なる開通式が舉行された。

同橋は近代的スマートな鐵筋コンクリート丁狀桁橋にして、徑間三十尺、幅員二間半、三連である。

## 京都府下の交通安全デー

京都府保安課では、十一月一日より五日間府下一齊に交通安全デーを実施し、秋の觀光客で賑ふ京洛を中心に府下二十六署員青年團員らを動員して大宣傳を行ふた。第一日を自動車安全デー、第二日を自轉車安全デー、第三日を歩行者安全デー、第四日

を牛馬諸車安全デー、第五日を街路安全デーとなして、自動車、自轉車、牛馬諸車、歩行者毎に交通訓練を行ふて、非常な好成績を擧げた由である。

## 大阪府豊能郡池田町の道

### 路網

大阪府豊能郡池田町では、近郊住宅地の衛生都市化の第一歩として、過般來大阪府都市計畫課國府技師に委囑計畫中であつたが、今回同技師の設計になる同町道路網の具體案が出来上つた。

それによると、この道路網は、本年度中に完成する産業道路大阪・池田線中の北豊島村字井口堂より同町字田中町に至る一キロ半に同線で既設の字田中町より吳服橋詰までの昭和通り、來年度府道路課によつて竣工豫定の同町字西の口より字南新町まで及び本年度矢張り同課によつて着工される字南新町より細河村字木部に至る各府縣道路線を中心幹線として、それらと平面交叉

し、又阪急線路と立體交叉し、山手の大廣寺邊に至る幅員十一メートル前後の道路を並行に三本、これを第二幹線とし、これらを基礎として縦横に緑の並木道を設けるといふのである。

## 和歌山市街の美化運動

和歌山縣當局では、和歌山市内の街路の美化を實行することになつた由である。

それによると、先づ、同市内の交通地獄の觀を呈してゐる市役所前を東は濠詰から西は水道課前の倉庫まで議事堂を中心に約三間弓狀に歩道を彎入せしめ、そこから縣廳前までの間は道路の眞中にある松の木を四本切るか、縣廳の塀を十一尺後退せしめこの間に出張つた民家は撤去又は後退させ一の橋の眞中に特異な風景を見せてゐる例の三角公園は交通上美觀上から同所の松の木十五本を切り捨て路面を平均した上和歌山署前まで十一尺の人道を新設し、新町線は低い軌道を上げ、街路樹を植えて、阪和

から一の橋を経て、縣廳前に至る東西の幹線は模範道路に改良し、又阪和、南海兩驛前の乗務員、監督詰所、ハイヤー置場等を撤去せしめ、特に南海驛前の街路樹は常綠樹に植えかへて同所の美觀を整へ、そこから市電杉の馬場に至る建物の裏側は全部目隠的壁を設け、其他亂雜なる廣告塵芥箱を整理統一して、同市内の交通地獄を救ふと共に市街の美化を圖らうといふのである。

## 中國地方

### 島根縣下の道路延長調

島根縣統計課の調査による縣下の道路總延長は三千二百二十二萬六千九百九十四メートル(七千九百四十三里六町九間)にして、橋梁の延長七萬九千四百メートル、渡船場の延長五千五十二メートルとなつてゐるが、これを前年に對比すると國、縣道並に市道は殆ど變化はないが、町村道においては延長十六萬六百四十八メートルであるが、こ

これは匡救事業の實施による町村道新設の結果と見られてゐるが國、縣、市、町村道別の延長左の通りである。

國道二十六萬二千五百メートル、縣道二百三十三萬二千四百四十五メートル、市道五萬九千四百十八メートル、町村道二千八百五十七萬二千二百二十六メートル。

### 島根縣松江新大橋の竣工

島根縣土木課が、總工費三十六萬圓を投じて、昨年六月起工以來五百三日の日月と三萬四千二百十七名の勞働者を使役して鋭意工作中なりし、松江新大橋は今回見事に竣工したので十一月十日同橋々畔に於て盛大なる竣工式が舉行された。

同橋は、延長百四十米、幅員十三米（歩道各二米二五、車道七米）にして、橋臺、橋脚は共に鐵筋コンクリートで、橋體はゲルバー式鋼板桁とし、橋面はアスファルトプロック舗裝を行ひ、高欄はセミステールの親柱に花崗石をあしらひ、照明燈は八箇

取り付けられてゐる。

新裝なれる橋上より望めば、遙か東方には伯耆大山の秀麗があり、西方には明媚な宍道湖の風景が展開され、水郷松江のモダン景観を誇示してゐる。

## 四國地方

### 香川縣高松の觀光道路

瀬戸内海國立公園沿岸を突つ走る觀光道路として待望されてゐる國道二十二號線藤塚・木太線道路改良工事中の高松市内六百六十米中二百八十米の改良工事は十月二十九日の市會を通過し、愈々四萬圓にて着工されることゝなつた。

同道路は都市計畫線に合致し、那部の幅員十一米に對し、市内は十五米とし、市内の幅員超過四米分總延長六百六十米を工費四萬圓にて着工することゝなつてゐたのであるが、本省の解釋により、總延長中四萬圓分延長二百八十米が市の事業となつたも

のである。

### 高知縣高岡郡松葉川村四橋梁の起工

高知縣高岡郡松葉川村では、町村道松葉川・久禮線中の白鼻橋及び縣道久禮・宮内線中の勝賀野橋、前橋、越鷄橋の四橋を、時局匡救事業として着工することに決定し、十一月五日同村勝賀野に於て、盛大なる起工式を舉行した。

此等四橋が竣工開通した曉に於ては、同地方の交通産業上一エポックを畫するに到るであらう。

## 九州地方

### 佐賀縣の道路改良計畫

佐賀縣土木課では、自動車利用の普及した現今縣内商工業の發展により、縣下道路網の擴張整備の必要に迫られ、昭和三年總工費一千二百六十萬圓を投じて、十ヶ年繼



續事業として道路改良計畫を樹立したのであつたが、年々繰延べられて今日に及んでゐたのであるが、今回左記の如き道路改良計畫を樹立し、十月二十五日縣廳第一會議室に於て開催の第一回道路調査會に知事より諮問された。

同計畫案は、道路の衛生化、輸送能力の増大及び半永久化を目的として舗装工事を含み、第一期（十ヶ年内完成）工費四百八萬九千三十圓、第二期工費四百五十一萬九千五百七十圓を投じた、縣道三十四萬四千九百三十米舗装八萬六千四百十米を改良せんとするものである。

第一期改良計畫

〔指定府縣道〕松梅村昭和橋―同村役場前  
松浦橋並に取付道路、濱崎町宿西入口―玉島村福岡縣界、唐津停車場線全線、牛津町國道分岐―住ノ江渡船場、住ノ江渡船場―福治村鞍本鹿島線分岐、濱町宿東入口―多良停車場前、鬼塚村小城、唐津線分岐―大坪村佐賀、伊萬里線分岐、大坪村唐津、伊

萬里線分岐―伊萬里町武雄、伊萬里分岐〔その他府縣道〕新北村諸富渡船場―南川副村佐賀南川副分岐、同分岐―西與賀村風日渡船場、神埼町國道分岐―背振村役場、三田川村國道分岐―北茂安豆津橋、西郷村國道分岐―小城町古湯線分岐、北多久村小城、唐津線分岐―多久村役場、同役場―同村武雄多久線分岐―多久村小城伊萬里線分岐―北方村國道分岐―伊萬里町牧島―同魚港分岐住吉村十二神橋―伊萬里町佐賀伊萬里線分岐、鹽田町武雄鹿島線分岐―同町國道分岐

第二期改良計畫

〔指定府縣道〕三瀬村三瀬神崎線分岐―同村福岡縣界、互勢村國道分岐―北茂安村豆津橋、多良停車場前―大浦村、長崎縣界、二里村川東宿東入口―同村川西有田平戶線分岐、二里村同上分岐―西山代村長崎縣界二里村川西伊萬里平戶線―大山村大木伊萬里早岐線分岐、大山村大木有田平戶線―曲川村國道分岐

〔其他府縣道〕嘉瀬村本庄川右岸―同村嘉瀬川左岸、久保田村嘉瀬川左岸、久保田村嘉瀬川右岸―芦刈村牛津停車場住ノ江港線分岐、背振村役場―三瀬村佐賀福岡線分岐  
松梅村三瀬佐賀線分岐―濱崎町唐津福岡線分岐―打上村唐津名護屋線分岐有浦村假屋港高串線分岐、有浦村唐津假屋港線分岐―入野村高串港、多久村武雄多久線分岐―若木村佐賀伊萬里線分岐、若木村小城伊萬里線分岐―大坪村唐津伊萬里線分岐、東多久村小城唐津線分岐―江北村國道分岐、江北村同上―福治村武雄住ノ江港分岐

第一期路商舗裝

神埼町宿中分國道、武雄町武雄、鹿島線分岐―同町三十三號線分岐國道、嬉野町宿中分國道、有田町眼鏡橋―有田村有田停車場分岐國道、佐賀停車場―神野町新村橋、佐賀停車場―水ヶ江町佐賀南川副線分岐、小城町宿中分佐賀小城線、相知宿中分小城唐津線、鬼塚村和多田―唐津市材木町、唐津市大手口―佐志村界、唐津市界―佐志村

八幡橋、松浦橋取付―東唐津停車場横、鹽田宿中分武雄、鹿島線、鹿島村北鹿島宿中分、殿木鹿島線、鹿島町中川橋―古枝村祐徳門前

### 第二期路面鋪裝

西鄉村有神埼橋―佐賀市牛島橋、朝日村高橋停車場前―武雄停車場前、神埼町新村橋―松梅村川上橋、水ヶ江町佐賀南川副線分岐―諸富渡船場、久保田村二十五號線分岐―小城町宿東入口、小城町西出口―相知停車場前、相知村濱崎相知線分岐―鬼塚村和多田、東唐津停車場横―濱崎町宿西入口石木津橋鹿島町界―濱町東出口

## 朝鮮

### 朝鮮京城の幹線道路鋪裝

京城府土木課では、來年度土木事業の豫算編成中であるが、豫算額は大量百萬元見當で工事のプランを樹立してゐるが、それによると、來年度は此豫算の内で、京城

府内の未鋪裝の幹線道路たる電化門より孝子洞への十二間道路を始め安國洞、苑雨洞間、龍山京町通り(何れも十二間道路)を經費一平方米八十錢にて簡易鋪裝を行ふ由である。これに依つて、大京城の幹線道路も完成することになる譯である。尙、國庫補助に依る地區改正工事の昭和九年度分は十年度に繰越され、工費は五十一萬にして半額の二十五萬五千圓は國庫補助である。九年

度工事の一部である光化門道緣地帯工事は近く起工の由である。緣地帯の長さは八百米現在植樹されてゐる銀杏並木の下に直線に芝草を植込むので、明春は萌る様な綠草地帯が京城のメーンストリート(光化門通りにデビニューすることになつた。

### 平壤牡丹台清流壁道路の

### 改良

平壤牡丹臺清流壁道路は牡丹臺への唯一のドライブ・ウェーとされてゐるが、大同江の水面より僅かに二米内外の高さに過ぎ

ず、例年夏季の氾濫期には決潰し、今夏も相當の被害を被つたので、平壤府では、これが禍根を除去するために兼ねてより、總工費二千圓を以て延長二百米、幅員六米に互り改良工事中とところのほど漸く完成し現在水面四米まで盛土を行つたが、明年度は更に二米の土盛をなし、自動車の通行自由な道路となし、水禍より完全にのがるべく計畫中である由である。(九二、六、記)

### 踏切の改善

踏切に於ける交通事故の慘禍は言語に絶してゐる。最近大阪の大軌電車と青バスとの衝突の際には、十數名の死傷者を出した由である。その原因は看守人の油斷にあるらしい。鐵道省では從來の晝間のみ看守のつく第二種踏切を全廢し、夜晝交代制の第一種晝夜閃光式警報機のみを置く二種類に整理する由だが、一層思ひ切つて總ての踏切を立體交叉にしたらどうだ。